

船員生活費及食糧に關する告白

各位益御隆昌大慶の至りに存じます次に目下海運不況の折柄甚思ひ遣りのないものであるとの非難を受けるかも知れませんが目下船舶連用の原動力である多数の海員が如何に悲惨なる境遇にあるかの事實を陳べて待遇改善の基礎として提供致たく茲に別案を草し御高覽に供する次第であります。

實は別案調査内容のきも今一層正確を期する考でありましたけれども何分にも多種多方面のことにて容易に纏まり兼ねて居る折柄諸物價は時々刻々に變動して殊に米價の如きは最近急に暴騰して其他の物價も之に追隨せんとして居るのであります故に不取敢米價だけは現在の相場に直して置きましたが其他の物價は七、八月頃の相場であります且又海員側に於きましては久しい間の困苦に堪へず之まで屢其窮情を訴へて調査の完了を待ち兼ねる氣勢を示し來り夫れには事實無理からぬ事情もありて此儘時日を遅延せしむることが甚憂慮に堪へざる形勢でありますから不取敢未定稿の儘にて御手許に提示する次第であります。

事情前述の通りでありますから何卒弊組合の眞意のある處を諒とせられ海員生活改善に第一歩を進むる上に於て賢明なる御考慮を仰ぎ一日も早く實現の方法を講せられたく切に希望する次第であります。

尙生活問題を基礎としたる海員給與の標準に就ては改めて案を具し貴意を得ること致たく目下頻りに調査を急いで居ります御含み置を願ひます。

大正十年十月十五日

日本海員組合長 檜 崎 猪 太 郎